

会 議 録

名 称	令和元年度岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会現地点検ワークショップ (東岸和田駅周辺地区)									
開催日時 及び場所	令和2年2月5日(水) 午後2時30分～午後5時00分 東岸和田市民センター 4階 会議室									
出席者	日野	西村(寿)	長谷川	西河	山田	日下	松下	中野	梅澤	芥子
委員26名 うち 出席19名 代理1名	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	原(利)	勝藤	岸	奥野	原(博)	石田	古石	西村(和)	安野	羽室
	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
	石崎	葛迫	伊勢	後藤	鈴木	梶川				
	○	○	○	○	×	○				
	オブザーバー 大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課福祉のまちづくりグループ 西山主査、岩田主任専門員 事務局(まちづくり推進部市街地整備課) 実森課長、秦広域幹線計画担当主幹、森下交通政策担当長、本田主査、北出									
傍 聴 者	0名									
＜＜概要＞＞ ■案件 ① 本日の位置づけ ② 現地点検方法等の説明 ■現地点検ワークショップ ① 現地点検 ② ワークショップ										
＜＜内容＞＞ ■当日資料『国土交通省「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定』について 後藤委員より情報提供 ■議事進行について 急遽欠席となった日野分科会長より指名を受けた伊勢委員が議長を代理 ■岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会の会議録について 伊勢委員より本日の会議録署名人として長谷川委員を指名										
案件 ①本日の位置付け (事務局) 資料1を用いて説明 ～委員からの意見～ (議長) ご質問等無いようであれば、本日の分科会の位置づけを確認いただいたということで、案件1は終えたい。 ----- ②現地点検方法等の説明 (事務局) 資料2を用いて説明 ～委員からの意見～ (議長) ご質問等無いようであれば、現地点検ワークショップに移りたい。										

現地点検ワークショップ	
①現地点検	3班に分かれ、班ごとにチェックシートを用いて現地点検を実施
②ワークショップ	班ごとに、現地点検で出された意見及び課題に対する方策や今後の整備に向けた意見の交換・整理を行い、各班の代表者より発表 ～各班からの発表～
(委員)	東岸和田駅と駅前広場の一部を点検した。ホーム上には柱があるが、ホーム地面と同色であるため、認識しづらい。柱の色を変えるべきではないかという意見があった。 点字運賃表や駅員呼び出しボタンが、切符売り場全体のどこにあるのかが分かりにくい。全駅で案内方法を統一し、標準化したほうが良いのではという意見があった。 時刻表は、背景と文字が同色系での表示のため認識しづらい。コントラストを変えて認識しやすくしてはどうかという意見があった。 階段の段鼻は、両端が黄色表示となっている。端から端まで黄色とした方がわかりやすいのではないかという意見があった。 エスカレーターに音声案内があるが、ホームでは様々な音声案内があり分かりにくい。箇所によって音声を使い分けて判別しやすくした方がよいのではという意見があった。 ホームの電光掲示板は画数の多い文字を使用した場合、認識しづらい。表示方法を変えてはどうかという意見があった。 駅前広場にあるバス停の行先表示が、車道側からのみ認識できる仕様となっている。歩道内などどこから見ても認識できる表示できないかという意見があった。以上。
(議長)	ご質問等無いようであれば、2班の発表に移りたい。
(委員)	2班の点検区間は新規格の道路が多いが、府道大阪和泉泉南線は規格が古いようで、歩道幅が狭い。道路と民地に高低差もあり横断勾配がきつい。また、電柱や看板が歩道内に設置されているため、自転車や歩行者、車椅子等のすれ違いが難しい。 横断歩道では、青信号の点灯時間が短いのではという意見があった。点灯時間の延長と、その時間が分かるような表示が欲しい。 土生交差点付近における歩道内の点状ブロックは、視覚障害者用押しボタンまで設置されていない。点状ブロックの延長が必要ではないか。 市道阪和線附属街路3号線は、一部歩道のない区間がある。南側から歩道を通行していると、その歩道のない区間は車道に出てしまうので、注意喚起が必要かと思う。以上。
(議長)	ご質問ご意見等あるか。
(委員)	土生交差点内の音声信号機は、浜側～山側間には設置されているが、大阪側～和歌山側間には設置されていない。
(事務局)	事務局で把握しておく。
(議長)	他にご質問等無いようであれば、3班の発表に移りたい。
(委員)	東岸和田駅西側歩道、市道阪和線附属街路2号線（以下2号線という。）は点状ブロックが一部整備されている。横断歩道までの経路の誘導だった。 駐輪場の入り口は、人がたくさん集まりそうだった。聴覚に障害を持つ方への配慮として筆談ボードを設置してもらいたい。 高架下は、周りを見ても灯りが少なく、夜間は非常に暗いかと推測される。 歩道と田んぼとの段差が80cm程度の箇所があった。照明がなく、夜間に歩道から田んぼへ転落する恐れがある。チャッターバー等での注意喚起を提案する。 市道阪和線附属街路1号線（以下1号線という。）から市道岸和田泉光寺線との交差点に進入する際、市道岸和田泉光寺線の見通しが悪い。2号線は現在工事中だが、同様。将来的な改善を希望する。 1号線と市道岸和田港福田線の交差点は、現在信号がついていない。信号の設置を希望する。

市道並松上松線は、歩道内に電柱が設置されており、有効幅員が狭い。
上松公園付近の歩道内にはグレーチング付きの会所が1箇所ある。普通目グレーチングであり格子幅は3cm程となっており危険を感じる。細目グレーチングへの交換を提案する。
上松公園は、災害時の緊急避難場所になっているので、夜間照明や放送設備が充実しているとよいと思われる。以上。

(議長) ご質問等無いようであれば発表を終えたい。

(議長) 「物理的なバリア」と「情報的なバリア」の2種類を中心に課題を抽出していただいた。移動の連続性が確保されていない状況として、バリアフリー化未整備のパターンと、バリアフリー化やユニバーサルデザインとしての情報を提供しすぎているが故に移動しづらいパターンの2種類があるかと考える。

2班の発表にあった一部歩道のない区間については、視覚障害者にとって危険な状態だと感じられた。バリアフリーというよりも注意喚起が必要かと思われる。

本日頂いたご意見の活用方法については、事務局から改めて説明いただきたい。

(事務局) 本日頂いたご意見は、事務局で集約の上、バリアフリー基本構想策定の参考とさせていただく。詳細については次回分科会で報告予定。

(議長) ご質問ご意見等あるか。

(委員) 2班での発表の補足だが、自転車の利用について、自転車は原則車道を走るべきだが、自転車は歩道を走るよう教育された世代もあるので、そのギャップも課題だという話があった。

(委員) 今回のチェックリストは、聴こえない人のバリアというものが入っていなかった。聴覚障害者は、まちの中にどんな情報があるかがそもそも分からない。町内放送が聴こえない、交番で話が通じない、電光掲示板が消えていると分からない等、細かい情報が必要な聴覚障害者がいるということをご理解いただきたい。

(議長) 他にご質問ご意見等なければ②ワークショップについては終えたい。

その他

(事務局) 本日の範囲外の経路についても、ご意見があれば本日に限らず事務局まで連絡されたい。
今後の作業については、頂いたご意見を踏まえ各施設管理者等と協議させていただいた上で、「バリアフリー基本構想策定」についても引続き必要な手続きを進めて参りたい。

(議長) 次回の分科会は令和2年の5～6月頃を予定している。宜しくをお願いしたい。
以上をもって、令和元年度岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会現地点検ワークショップ(東岸和田駅周辺地区)を閉会とする。

岸和田市地域公共交通協議会会議運営規程第5条の規定により

令和元年度岸和田市地域公共交通協議会バリアフリー基本構想分科会現地点検ワークショップ
(東岸和田駅周辺地区)の会議録をここに署名する。

議 長

署 名

会議録署名人

署 名